

## 飼料用トウモロコシ推奨品種「パイオニア 112 日(33J24)」

飼料用トウモロコシ品種「パイオニア 112 日(33J24)」は乾物収量（特に子実収量）及び栄養（TDN）収量に優れた中生の多収品種である。

表1 生育的特性及び形態的特性

試験年次	播種日からの日数			播種～黄熟期までの 所要積算温度( )			かん長	着雌穂高
	発芽期	雌穂抽出期	絹糸抽出期	黄熟期	有効	積算		
H12	10	73	72	120	1271	2480	257	116
H13	7	81	80	129	1207	2497	260	115
H14	10	82	82	136	1173	2539	247	112
平均	9	79	78	128	1217	2505	255	114

表2 障害及び病害

試験年次	有効雌穂 割合 (%)	倒伏 割合 (%)	病 害 特 性					
			スス紋 (1-9)	コマ葉 (1-9)	黒穂病 (%)	根腐病 (%)	紋枯病 (%)	萎縮病 (%)
H12	98.0	0.0	1.0	1.0	3.3	0.0	2.1	0.0
H13	98.0	0.0	1.0	1.0	5.6	0.0	0.0	0.9
H14	100.0	0.0	1.3	1.7	7.9	0.0	2.6	0.0
平均	98.7	0.0	1.1	1.2	5.6	0.0	1.6	0.3

ごま葉枯病耐性、スス紋病耐性に優れる。

黒穂病がやや多いので、黒穂病が多発する飼料畑においては作付けに留意する。

表3 収量性

試験年次	生草 収量 kg/10a	乾 物 収 量				TDN収量 kg/10a
		雌穂 kg/10a	総量 kg/10a	雌穂率 %	生産速度 kg/10a/日	
H12	7688	1239	2127	58.3	17.9	1570
H13	6926	1086	2095	51.8	17.6	1510
H14	4360	1093	1977	55.3	15.9	1443
平均	6325	1139	2066	55.1	17.1	1508

乾物収量（特に子実収量） 栄養収量（TDN 収量）に優れる品種である。

栽培適地は、標高 500m以下の県下全域（有効積算温度 1200 ~ 1250 未満の地域）。  
適正栽植密度は、6,500 本/10a である。